

2011年度

科目名	教科教育法特講Ⅲ				
担当教員	松田 晃				
配当	専攻1		コード	42021	
開期	前期	講時	木曜日2限	単位数	2
授業テーマ	これからの理科教育のあり方(小学校理科を中心に据えて)				
目的と概要	小学校「生活科」・「理科」の設定・改訂の経緯、基本的な考え方、その目標と内容構成(Aー生物とその環境、Bー物質とエネルギー、Cー地球と宇宙の扱い方等)についての考察し、科学的思考を踏まえた自然認識と人間形成をめざす理科教育の重要性・あり方を明確にする。更に理科教育の実践に役立てる教材開発・扱いについて積極的に研究を深める。				
成績評価法	①学習ノート・提出物・平常点等20% ②自己・相互・指導評価20% ③小論文・レポート・まとめ60% 等により総合的に行う。				
テキスト	21世紀の理科教育 森 一夫 編著 学文社				
参考書	小学校学習指導要領解説(理科編)・文科省 著 小学校学習指導要領解説(生活編)・文科省 著 小学校学習指導要領解説(総則編)・文科省 著 小学校教科書(生活科・理科)等 講義資料・学習資料は適宜供与する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	参考図書については、予め読んでおくこと。				
講義計画					
第1回	旧・新学習指導要領改訂の経緯・背景				
第2回	学習指導要領(理科・生活科)改訂の趣旨・改訂の要点及び今後の課題				
第3回	理科教育のめざす人間形成と理科教育のあり方 知識注入型科学主義教育からの脱皮(覚える理科から分かり、使える理科へ)				
第4回	理科指導・理科教育の基本的な考え方・あり方 理科学習論と自然認識過程における自然探求の過程の関係				
第5回	理科指導の実際(1) 教材研究のあり方				
第6回	理科指導の実際(2) 理科学習指導案の作成のあり方				
第7回	理科の目標及び内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取り扱いと関連 学年目標と学年内容の構成と各学年目標と内容の関連性				
第8回	各学年の目標と内容の取り扱い(1) 目標と内容(教材の実践的扱い・教材開発と工夫等)				
第9回	各学年の目標と内容の取り扱い(2) 目標と内容(教材の実践的扱い・教材開発と工夫等)				
第10回	各学年の目標と内容の取り扱い(3) 目標と内容(教材の実践的扱い・教材開発と工夫等)				
第11回	各学年の目標と内容の取り扱い(4) 目標と内容(教材の実践的扱い・教材開発と工夫等)				
第12回	理科学習と評価のあり方 理科の学力と教育評価について				
第13回	小学校学習指導要領(生活編・理科編)・中学校学習指導要領(理科編)の相互関連を考察する 学習指導要領及び解説の関連から、理科学習の在り様を探る				
第14回	理科教育・学習にSTS教育・環境教育 等はいかなる関連があるかを考察する				
第15回	評価会(まとめ・発表等)				